

竜巻注意情報をご存知ですか？

皆さんは、竜巻注意情報をご存知ですか。現在の予測技術では、竜巻がいつ、どこで発生するかの予測は困難ですが、竜巻から身を守ることは十分可能です。今まさに竜巻が発生しやすい気象状態であることを知らせる情報が、竜巻注意情報です。

1991年から2008年までの竜巻発生数は、沖縄県が最も多く79個、2位の北海道が50個です。全国的に見ても沖縄が如何に多いかが分かります。気象台では、まず雷注意報で突風の注意を喚起してから竜巻注意情報を発表します。竜巻や突風についての情報を見聞きしたら、注意して回りを見て下さい。もし黒い雲の接近や雷鳴が聞こえたら、近くの丈夫な建物に一時的に避難しましょう。また建物の中では、飛来物でガラスが割れる場合がありますので、窓ガラスから離れましょう。少しの行動で竜巻から身を守ることができます。

『竜巻注意情報』で竜巻への注意を呼びかけます

竜巻発生の可能性に応じた段階的な情報発表を行います。

情報発表のタイミング

半日～1日前

「気象情報」発表

■「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記します。

数時間前

「雷注意報」発表

■落雷、ひょう等とともに、「竜巻」も明記します。

新設!

0～1時間前

「竜巻注意情報」発表

■今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっていることをお知らせします。

竜巻発生!!!



〇〇県竜巻注意情報 第1号
平成XX年11月07日13時09分 △△地方気象台発表

情報イメージ

〇〇県では、竜巻が発生するおそれがあります。

竜巻は積乱雲に伴って発生します。雷や風が急変するなど積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。

この情報は、07日14時10分まで有効です。

対象地域
中部、南部、東部

いつまで注意が必要か
明記しています。
(発表から約1時間が目安)

※「竜巻注意情報」は、「竜巻」だけでなく、発達した積乱雲に伴って発生する激しい突風(ダウンバースト・ガストフロント)も対象としています。



現在の観測・予測技術では、竜巻等激しい突風の発生を事前に予測できない場合もあります。